

豊平区実施プラン2007期末報告

地域のまちづくり・区民との信頼関係をさらに構築する重点項目～平成19年度豊平区の6つのテーマ～

(1) 地域の人々が力を合わせられる環境をつくります : 実施したもの : 一部実施のもの : 検討の結果、未実施のもの

実施プラン掲載項目	3月末現在の実施状況	評価	平成20年度への改善点
各まちづくりセンターを拠点として、地域の取り組みをサポートします。	まちセン訪問などを通して、地域の実情や要望を把握するとともに、必要なサポートを行いました。	  	地域の活発化に向けた様々な方策を試行的な取り組みを通して、サポートをしていきます。
まちづくりセンターの活動を、区職員が組織横断的に連携し、サポートします。	サポートが必要な場面等について検討した結果、まちづくりセンターの置かれている状況等に差異が大きく、現時点ではプロジェクトの立ち上げが難しいという結論に至りました。		区役所とまちづくりセンターの業務連携のあり方について整理していきます。
地域の方々の町内会への加入、町内会活動参加促進の支援をします。	町内会の活動を紹介するパンフレットを作成し、希望する町内会へと配布しました。町内会から提供があった、加入促進に関するアンケート結果を町連会長会議に提出し、各町内会の取り組みを紹介しました。一般的な町内会の取り組みを、実際の町内会を例に紹介し、情報共有を行いました。	  	地域との情報共有を通じ、町内会が主体的に加入促進に取り組めるよう支援します。
団塊の世代などの豊かな知識と経験をまちづくりに生かしていただくための研究をする「新たなまちづくり人材の創出事業」を進めます。	若い世代や団塊の人たちに、気軽にまちづくりに参加していただくことを目的としたまちづくり入門教室を東月寒地区で実施しました。	 	より多くの人々が気軽にまちづくりに参加できる取り組みを実施していきます。
違反広告物除去活動など、道路・公園の管理についてアダプト制度（本来、管理者がいる道路、公園などを養子にみたと、NPOや市民団体が里親となって美化活動などを行うこと。）を活用し、町内会などに権限を与え、自主的な管理を広めていきます。	南平岸町内会では、路上違反広告物撤去活動を、19年4月から12月の間に29回行い、合計738枚、除去しました。また、平園公園について、公園の自主管理主体の立ち上げを検討し、関係者と調整会議を行いました。	  	住民組織等による違法広告物の除去活動と公園管理の自主運営化を別事業とし、それぞれの特性を踏まえて進めていきます。
地域にあった雪対策のあり方を区民と一緒に話し合い考えていく「地域と創る冬みち事業」を推進するなど、区民と共通認識に立った雪対策を進めていきます。	区内10箇所の町内会と懇談会を実施。地域の実情に応じた除雪手法の合意形成を図り実施しました。	  	札幌市の除雪事業に関する理解をより深められるよう、懇談会でのワークショップ手法の改善を検討します。
次代を担う子どもたちに対し札幌市の除雪や排雪などの仕組みやルールを、楽しく、分かりやすく発信します。	除雪事業や雪のある暮らしについて解説した子ども向け雪の絵本「こりんとめーたん 雪のプレゼント」を区内中学生と共に作成し、区内の小学校に配布しました。	  	「こりんとめーたん 雪のプレゼント」を各種イベントに活用。児童らに除雪事業や雪国で暮らすためのルールに関する啓発活動を展開します。
雪出しや路上駐車防止のPRを通して、地域のマナーを啓発していきます。	路上駐車防止の啓発活動として、町内会連合会単位で、1月中旬から2月上旬に町内会・豊平署・区役所による夜間合同パトロールを実施しました。雪出し防止キャンペーンとしてパンフレットの町内会回覧等の広報活動を実施しました。	  	「広報さっぽろ」や「土木センターニュース」を利用して、広く区民へのPRを行います。
健康づくりリーダーや食生活改善推進員など、地域健康づくりの担い手を育成するとともに、健康づくりを進めるためのネットワークを構築し、健康なまちづくりを目指します。	食生活改善推進員養成講座、健康づくりサポーター研修を実施しました。また、ウォーキンググループなどからなる健康づくり懇話会のメンバーと協働で、「健康フェア豊平2007」を開催しました。	  	健康づくりリーダーや食生活改善推進員、市民サポート事業のウォーキングボランティアとともに、健康づくりを進めるためのネットワークを構築し、健康なまちづくりを目指します。
子育てサロンを充実するとともに、「げんき夏まつり」、「げんき雪んこまつり」など、地域の人々と親子の交流を深めるイベントを開催し、地域の支援力向上を図ります。	「げんき夏祭り」を4会場で実施した。げんき冬まつりを2会場で実施しました。区老連の世代間交流事業「こどもフェスティバル」開催のため企画実施の支援を行いました。豊平、美園、平岸三地区合同主催事業を協働開催しました。	  	「ワクワクとよひらんど」開催にあたり、協働する地区を広げていきます。
暮らしやすいまちづくりを実現するために税金の説明会を開催するなど、区民への情報提供を行い、税に対する正しい知識と理解を促進し、税収確保に努めます。	色々な税制改正について、区民にわかりやすく説明するため、ポスター・ホームページ等を活用し、その情報提供に努めました。	  	今後の税制改正に対応するため内部研修等を充実し、区民に対してわかりやすく的確な説明に努めます。また、税の合同相談会や広報活動等を通して税に対する理解を深めることにより、税収確保を図ります。
中学生と区職員が一緒になってまちづくりを考え、実践していく「U15市民自治プロジェクト（陵陽中学との協働事業）」を進めます。	6月に区役所周辺、7月に南平岸高台地区において、「とよひらお掃除隊」を実施しました。9月の陵陽中学校祭に豊平区コーナーを設置しました。12月に区役所前庭のイルミネーションの飾りつけを中学生・保育園児・職員とで行いました。「とよひらおもしろスノーパーク」に参加しました。（イグルー作り体験・げんき雪んこひろば）	  	今後も中学生と職員が協力して行える事業を進めます。

🍎🍎🍎：実施したもの 🍎🍎：一部実施のもの 🍎：検討の結果、未実施のもの

実施プラン掲載項目	3月末現在の実施状況	評価	平成20年度への改善点
広く区民の意向を把握し、区民合意を形成できる仕組みを検討していきます。	市民の意見を市政に反映するため、区民意見の調整や合意形成の場である「区民協議会」を全区に設置することを目指している「アドバイザー会議」などの動向を注視しながら、情報収集を行いました。	🍎🍎🍎	引き続き、「アドバイザー会議」の動向を見極めながら、「区民協議会」について、情報収集を図っていきます。
区役所の「皆様の声」意見箱に寄せられたご意見に対する回答やこれまでの改善事例を区役所掲示板とホームページに掲載します。	「皆様の声」意見箱に寄せられたご意見に対する回答を、随時、区役所掲示板とホームページに掲載しました。	🍎🍎	「皆様の声」の利用促進のため、用紙の設置場所を増やすとともに、設置場所の表示を工夫します。また、窓口、電話、インターネットなどで寄せられた意見や改善事例の公開について検討します。
出前講座などを通して積極的に情報を提供します。	出前講座を周知するため、広報さっぽろ9月号及び2月号の豊平区のページに情報を掲載しました。 また、地区懇談会を8地区で開催し、区民と職員の直接対話を実現しました。	🍎🍎🍎	区民が求める情報について、タイムリーで分かりやすく提供するよう努めます。
地域の情報発信コーナーを充実させます。	区民センターロビーやタウントークなどで、パネル展を実施しました。 また、まちセンに掲示板を整備しました。	🍎🍎🍎	一旦の整備は完了しました。今後は事業・イベント時などでも地域情報の発信を進めます。

(2) スポーツ・教育・文化の施設・機能を活かします

実施プラン掲載項目	3月末現在の実施状況	評価	平成20年度への改善点
大学生や区職員による「とよひらスポーツ・アップル応援隊」が中心になり、とよひらスノーパークなどスポーツ行事による地域間交流の促進を図ります。	9月22日から23日にかけて、北海学園大学の学生と協働で子どもたちを対象とした「山小屋自然体験交流事業」を実施しました。 2月3日には、月寒公園坂下球場において、各々が連携して、地域の様々なボランティアとの協働で「第2回とよひらおもしろスノーパーク」を開催しました。好天に恵まれ来場者も900人を超えるなど、各コーナーもたいへん盛況でした。	🍎🍎🍎	5月以降新たに「とよひらスポーツアップル応援隊プロジェクト」のメンバーを募集するとともに、イベント等の事業内容について、企画・立案を進めます。
ファイターズ区民応援デー「豊平区民応援団」の活動を行います。	5月に豊平区民2000名が参加して、「ファイターズ豊平区民応援デー」を実施しました。 9月と11月には区内の小中学生を中心とした「コンサドーレ区民応援デー」を実施しました。	🍎🍎🍎	日本ハム球団の協力で、6月4日(水)の対広島東洋カープ戦の際に「ファイターズとよひら区民応援デー」を開催します。 今後とも、球団に対して、区民応援デーの継続開催ができるよう積極的に働きかけを行います。
区役所フロアのスポーツ情報コーナーを充実させます。	4月にファイターズ情報発信コーナーの展示物を入れ替えました。 12月から新たにコンサドーレの情報発信コーナーを設置しました。	🍎🍎🍎	限られたスペースの中で内容の充実を図るため、展示方法の工夫をしていきます。
「創造学園」など、生涯にわたる学習機会を提供します。	豊平区高齢者大学「創造学園」の教養科に、第32期生として新たに89名が入学しました。 3月12日、第31回卒業式が行われ、31期生71名が2年間の学園生活を終了し卒業しました。 昭和51年の開校以来、卒業生も2,930名を数えています。	🍎🍎🍎	今後とも、教育委員会との連携を図りながら、豊平区における高齢者の学習の場として、市内で唯一の2年制の高齢者大学という特徴を活かし、カリキュラムの充実等を図っていきます。(4月に第33期生が入学)
運営体制などを強化して「とよひらフラワーコンサート」を開催します。	7月に札幌コンサートホール「キタラ」で「とよひらフラワーコンサート」を開催し、区内の小学校、中学校、高校、大学、一般など29団体約1100名が参加し、区民を中心に3000名が来場しました。	🍎🍎🍎	7月29日(火)にキタラで「第16回とよひらフラワーコンサート」を開催します。 参加団体が増える中、スタッフ、関係者との緊密な連携を図っていきます。
各地区におけるコンサート開催などを支援します。	各地区において開催されたコンサートで地域の交流の促進などまちづくりの推進に資するものに対して助成金の交付などの支援を行いました。	🍎🍎🍎	各地区におけるまちづくりに結びつく芸術、文化活動に必要な支援を行います。

(3) 思いやりとふれあいを大切にします

実施プラン掲載項目	3月末現在の実施状況	評価	平成20年度への改善点
区社会福祉協議会、福祉のまち推進センターの活動を支援し、地域福祉の基盤を強化します。	年度初めに西岡地区社協総会を開催し、福まち主催の介護予防研修会(年3回)を各団体との連携事業として位置づけました。 シンポジウム、講演、交流会の開催により、各参加者自身が住み慣れた地域での在宅生活を継続するための課題と、きめ細かな福まち活動の必要性を確認しました。 また7ヶ所の「ふれあいマップ」を完成し、実際にウォーキングを実践しました。 19年度の研修参加者は昨年度の2倍を超える325名でした。	🍎🍎🍎	西岡地区社協の活動を機能させ、福まちセンターと他団体との連携強化を図ってきたが、全地区班回覧の継続等により、さらに活動の周知及び浸透を図っていきます。 2年間で学んだ、各介護予防活動について、福推推進員を中心に単町レベルでより具体的に取り組めるように支援します。

実施プラン掲載項目	3月末現在の実施状況	評価	平成20年度への改善点
区民の主体的な健康づくりを進めるため、地域の人材を育成し、連携・協働した取り組みを進めます。	ウォーキングを地域に広めることを目的に、「地域健康づくりサポーター研修」を5回実施しました。研修受講者が、「健康フェア豊平2007」の中で、ウォーキング大会の実行委員として活躍しました。	🍎🍎🍎	住民主体のウォーキング大会へと発展させていきます。
区民と協働して「(仮称)豊平区保健福祉フェア」などを開催し、健康づくり・福祉活動を推進します。	9月の「健康フェア豊平2007」開催にあたり、地域リーダーがスタッフとして参加し、ウォーキング、リフレッシュ体操、食生活改善展などで健康づくりを図りました。	🍎🍎🍎	20年度はフェア内容の見直しを行い、さらに区民にとって役立つフェアとします。
子育てサロンの充実や児童虐待の予防・防止対策の強化事業を推進します。	サロン未設置校区の南月寒小学校ミニ児童会館を会場として「あっちこちあんばんさろん」を実施しました。	🍎🍎🍎	20年度は内容等の質の充実を図ります。
介護保険制度や障害者自立支援制度の周知を積極的に行います。	介護保険制度については地域の健康教育で10回実施した。引き続き、訪問活動、相談業務の中で随時周知を行いました。 障害者自立支援制度については、区社協が中心の「豊平区自立支援ネットワーク会議」を月1回開催し、豊平区内の関係者の勉強会を行いました。 また、8月に170名の市民が参加して、市民向けフォーラムを開催しました。 精神障害者の地域支援ネットワーク構築のため、豊平区地域精神保健福祉連絡協議会を設置しました。	🍎🍎🍎	制度は徐々に定着してきているので、今後は健康教育など経常業務の中で周知を進めます。 また、区ホームページの中に介護予防コーナーを開設することを予定しています。
「地区介護予防調整会議」を開催するとともに、地域包括支援センターや介護予防センターとの連携強化を図り、介護予防を推進します。	「介護予防調整会議」を全地区で開催しました。 介護予防の普及・啓発のため、区・包括・介護予防センター・区社協が協働で「おたっしやマップ」を5,000部作成し、各地域組織等に配布しました。	🍎🍎🍎	地区介護予防調整会議は計画的に開催してきており、地域包括支援センター及び介護予防センターとの連携も円滑に進んでいることを踏まえつつ、介護予防の普及・啓発を一層推進するため、「元気ハツラツ熟年フェスティバル」を開催するなど、地域に密着した取組を進めていきます。
老人クラブの活動をサポートし、高齢者の生きがいや介護予防を支援します。	区老連が主催するゲートボール大会やパークゴルフ大会演芸大会の運営にあたって、資料の作成などのサポートを行いました。 コンサドーレが実施する介護予防事業と区老連が連携できるよう、橋渡しなどの支援を行いました。	🍎🍎🍎	各種事業の支援を行い、世代間交流、介護予防等に成果をみたが、参加者が固定している面が見られるため、今後、高齢者の仲間づくり、会員拡大を図りながら、多くの老人クラブ会員が参加するよう支援します。
食中毒や感染症対策などの健康危機管理を推進します。	札幌市食品衛生監視指導計画に基づき、飲食店等に対する監視指導、札幌ドームで販売している弁当や調理済食品の抜き取り検査を行いました。 また、衛生講習会やパネル展でカンピロバクターやノロウイルス等に関する知識の普及啓発等を行いました。	🍎🍎🍎	札幌市食品衛生監視指導計画に基づき、着実に実施していきます。
分かりやすい庁舎案内表示を進めるなど、利用しやすい区役所を目指します。	臨時窓口の開設に併せて、立て看板を用いて案内表示を行うなどの工夫を行いました。	🍎🍎🍎	庁舎案内の問い合わせの多い箇所を踏まえて、より分かりやすい情報提供に努めます。
あいさつや声掛けを積極的に行うとともに、的確な電話対応に努めるなど、区民の立場に立った対応の徹底を図ります。	区民の立場に立った対応について、具体的なケースについて意見交換等を行う市民対応検討委員会を毎月開催し、職員への指導や研修に活用しました。	🍎🍎🍎	市民対応検討委員会での意見交換内容を、職員に広く周知することで、職員の接客能力を高めます。
各種研修の充実などにより、職員の意識改革を進め、区役所全体のサービス向上に努めます。	ヒアリング(接遇)研修、お仕事紹介プレゼンテーション研修、事業参加型研修、臨時職員研修(前期・後期)を実施しました。	🍎🍎🍎	業務繁忙期を考慮し、各種研修の実施時期を調整します。
女性職員の視点から見たサービスアップや区役所の環境整備を進める「やさしくあたたかい区役所・環境整備事業(夢華会)」を進めます。	4つのグループ別の活動を実施。新規の取組としては、「気づき」の提案(トイレに関するもの)やハッピーアカデミーの新たな研修を行いました。 また、夢華会メンバーが区民サービス先進事例のある他都市視察を行いました。 夢華会メンバーへのPJに関するアンケートを行い、PJのあり方の検討を開始しました。	🍎🍎🍎	組織横断的なPJの活動により、引続き区役所のサービスアップを目指します。 PJ当初からの女性職員ならではの気づきや提案を夢華会活動のコンセプトとし、新しい取組にも挑戦します。
区役所周辺の清掃や交通安全街頭啓発など、区職員による「とよひらの日」(毎月14日)の地域貢献活動を進めます。	部課長会議の中で、「とよひらの日」の地域貢献活動の進行管理を行うなど、職員の理解や浸透を図りました。 土木部では、毎月24日(にしおかの日)に「西岡地区交通安全啓発運動」に参加しました。	🍎🍎🍎	より多くの職員が参加できる仕組みを検討します。

(4) 安全・安心で快適なまちをつくりまします

実施プラン掲載項目	3月末現在の実施状況	評価	平成20年度への改善点
犯罪や事故などを未然に抑止するための地域活動を支援し、地域の連帯感・責任感・防犯意識の向上を促します。	通常の交通安全啓発事業に加え、死亡事故者が多いことを受けて、交通安全週間に一斉に国道36号で啓発活動を行いました。	🍎🍎🍎	交通安全啓発事業について、地域の独自の活動も若干盛り上がりを見せているので、今後も継続して支援します。

🍎🍎🍎：実施したもの 🍎🍎：一部実施のもの 🍎：検討の結果、未実施のもの

実施プラン掲載項目	3月末現在の実施状況	評価	平成20年度への改善点
地域での防災・防犯に対する取り組みの情報を集約し、情報発信します。	10月の「防災リーダー研修」を開催しました。 また、「豊平区地域安全ネットワーク会議」を3月に開催しました。	🍎🍎🍎	豊平区地域安全ネットワーク会議を設置したことにより集まる情報を集約し、会議を通じて発信していきます。
自主防災組織の結成率の向上に努めます。	豊平消防署と連携し、9月の防災訓練等の機会に、自主防災組織の必要性を啓発しました。 6月に1町内会に自主防災組織ができたことで、3月末現在で294町内会中256町内会で組織されました。	🍎🍎🍎	継続して自主防災組織の結成率向上に努めるとともに、既に結成された組織への活動支援を行っていきます。
地域による災害図上訓練(DIG)の実施を促進します。	9月に、月寒地区において、災害図上訓練(DIG)を行いました。 また、豊平消防署と連携し、DIG開催の啓発を行うとともに、DIG研修に職員を参加させました。	🍎🍎🍎	DIG開催回数が増えるようさらに機会をとらえて啓発していきます。
「とよひらの日」(毎月14日)に、青色回転灯を公用車に装着し、重点的に地域防犯パトロールを実施します。	毎月14日(土日を除く)のとよひらの日において、公用車に青色回転灯を装着してパトロールを実施しました。	🍎🍎🍎	職員によるパトロールを継続するとともに、交通安全・防災・防犯上の目で地域を確認していきます。
災害時の地域への情報発信、収集体制の整備を検討します。	「豊平区地域安全ネットワーク会議」を3月に開催しました。 また、札幌市とFMアップル等との間で、災害時の協定が締結されました。	🍎🍎🍎	豊平区地域安全ネットワーク会議をベースとして、情報収集・発信を行っていきます。
バリアフリーなど歩行空間の整備を検証し、安全・安心な道路づくりを推進します。	道道札幌環状線の羊ヶ丘線から平岸4条1号線間で歩道バリアフリー工事を進めました。 道道札幌環状線の平岸4条1号線から国道453号間、国道36号から美園月寒裏通線間、道道西野白石線の平岸2条線から清療院連絡線間のバリアフリー工事を実施しました。 羊ヶ丘線と西岡中央線交差点の歩道リフレッシュ事業を実施しました。	🍎🍎🍎	工事の実施に関し、住民説明会等を通じて、より住民の意見・要望を反映できるよう調整します。
通学路の安全啓発ステッカーを作成し、希望する学校に配布します。	豊平区のキャラクターを印刷した「ストップマーク」を、希望する各小学校のスクールゾーン実行委員会(21校中13校)に配布しました。	🍎🍎🍎	ストップマーク配付を継続していきます。
交通安全街頭啓発の取り組みを強化します。	5月、6月、9月のとよひらの日(毎月14日)に、区役所前で、役職者による早朝街頭啓発を実施した。今年度から、在宅福祉サービス協会・災害防止協力会・土木センターが参加しました。	🍎🍎🍎	区役所役職者による早朝街頭啓発を継続していきます。
高齢者が夜間外出時に反射材を身につけるよう、配布、普及に努めます。	札幌ドームのイベント時や地域のお祭りなどで、反射材を配布しました。 10月に反射材を配布しました。	🍎🍎🍎	交通安全運動推進委員会を通じ、交通安全啓発品の配付を継続していきます。
南平岸地区に「あんしん歩行エリア」を設け、安全で安心して歩けるみちづくりを地域とともに進めます。	道道札幌環状線と羊ヶ丘線の交差点で交差点のコンパクト化及び横断歩道部の一部カラー舗装化を進めました。 東山小学校前の区画線改良を実施しました。 平岸4条1号線と美園中の島線の交差点改良を実施しました。	🍎🍎🍎	地域の要望を取り入れる努力を継続します。

(5) 豊かな自然を次代に引き継ぎます

実施プラン掲載項目	3月末現在の実施状況	評価	平成20年度への改善点
「とよひらHANA-LAND事業」を推進します。	各地域・学校等に、花の苗1万本を配布しました。 また、種から苗を育てる取組を区役所内で試行し、各部の参加による、元気の花の種コレクションを実施しました。 財源の縮減に応じ、種から苗を育てる取組について研究を行っています。	🍎🍎🍎	財源の縮減に応じ、種から苗を育てる取組などについて研究を深めていきます。
リンゴ並木の育成・保存を推進するとともに、収穫したリンゴを区民に提供します。	除排雪で痛んだリンゴ樹木10本のうち、5本を植替えました。 9月に今年度1回目のりんご並木で収穫されたリンゴの配布を行いました。 「健康フェア」などのイベント時に、来場者に配布しました。 10月に2回目のリンゴの一般配布を行うとともに、区の事業の参加者などにも配布しました。	🍎🍎🍎	りんごを通して、豊平区の魅力アップを進めます。
「公園利用マナー推進員登録制度」の拡充を図ります。	「豊平区土木センターニュース」を第3号まで発行し、公園利用マナー推進、道路維持・管理、除雪等に関する事業の紹介、協力要請等をPRしました。	🍎🍎🍎	マナー推進員制度の新たなPRの場を検討します。

🍎🍎🍎：実施したもの 🍎🍎：一部実施のもの 🍎：検討の結果、未実施のもの




実施プラン掲載項目	3月末現在の実施状況	評価	平成20年度への改善点
みどりの育成・保全のパンフレットを活用し、小・中学生に、みどりの大切さを発信していきます。	小中学生の総合学習、課外活動等の機会にあわせ計6回、82名を対象に、みどりの育成・保全のPRパンフレットを配布・活用し、みどりの大切さと公園の正しい利用について啓発を図りました。	🍎🍎🍎	関係部署との連絡を密にして、情報の発信の場、機会の拡大に努めます。
環境マネジメントシステムに基づいた業務を推進するなど、環境負荷低減の取り組みをさらに進めます。	とよひらの日(毎月14日)に、庁内放送でノーマイカーデーを呼びかけました。また、区役所駐車場にアイドリングストップの看板を設置しました。12月に各部合同で、EMS研修を実施しました。	🍎🍎🍎	EMS研修の中で、一部の部がごみ分別を取り上げましたが、全ての部でごみ分別について取り上げていきます。
平成16年度に試行的に導入した、道路工事の受注業者に対して環境への配慮を啓発する取り組みをさらに推し進めます。	発注した工事の約半数において、環境への配慮を啓発する取り組みを実施しました。	🍎🍎🍎	環境への配慮に取り組む工事を拡大していくよう努力します。

(6) とよひらの地域特性・地域資源を活かします

実施プラン掲載項目	3月末現在の実施状況	評価	平成20年度への改善点
区内の大学との協働事業を行います。	北海学園大学と連携して、5月のファイターズ戦や9月のコンサドーレ戦で、「区民応援デー」を実施しました。9月に、北海学園大学と連携して、小学生の山小屋自然体験を実施しました。北海学園大学と札幌大学と連携して、冬のイベント「とよひらおもしろスノーパーク」を実施しました。	🍎🍎🍎	お互いが協力して、連携できる事業を実施していきます。
区内高校生の社会奉仕活動や、中学生の総合学習などに協力します。	西岡中学校、西岡北中学校、月寒中学校、平岸高校の生徒をインターンシップで受け入れました。	🍎🍎🍎	引き続き協力をしていきます。
リンゴ並木の育成・保存を推進するとともに、収穫したリンゴを区民に提供します。(再掲)	除排雪で痛んだリンゴ樹木10本のうち、5本を植替えました。9月に今年度1回目のりんご並木で収穫されたリンゴの配布を行いました。「健康フェア」などのイベント時に、来場者に配布しました。10月に2回目のリンゴの一般配布を行うとともに、区の事業の参加者などにも配布しました。	🍎🍎🍎	りんごを通して、豊平区の魅力アップを進めます。
「こりんとめーたん活用事業」を進めます。	区発行の印刷物等のイラストに、積極的にこりんとめーたんを活用しました。こりんとめーたんの着ぐるみを、中部国際空港におけるイベントに派遣するなど、様々なイベントで積極的に活用するとともに、地域活動に対し貸し出しを行いました。こりんとめーたんのイルミネーションや雪像を作成しました。	🍎🍎🍎	今後も、さらに様々なグッズ等を検討します。また、豊平区や地域の各事業が盛況になるための協力方法を検討します。
「とよひらの日」(毎月14日)や「とよひら元気大作戦!!月間」(毎年9~10月)のPRと参加促進に努めます。	こりんとめーたんと新規採用職員のお出迎え、交通安全街頭啓発を実施しました。元気大作戦月間に向けて、各部と連携し、ロビーコンサートや元気講演会などのイベントを計画し、より多くの人々の参加促進を目指しました。広報さっぽろ区民版やポスター・チラシの配布などを通して、元気大作戦月間の各事業を周知しました。	🍎🍎🍎	より多くの人々が、事業参加できるようPRをしていきます。
FMアップルなどの区広報番組への区民参加を促進します。	区内の各地区から9町内会14人の地域住民が番組に出演し町内会活動等の紹介を行いました。	🍎🍎🍎	広報番組だけでなく、他の広報活動においても区民参加を進めます。
特色・魅力ある地域ブランドを発掘・発信します。	7月に、2年目の職員で構成される「豊平区PR大作戦プロジェクト」を立ち上げ、地域ブランドの発掘や発信の手法について検討を開始し、12月には区民アンケートを行い、区の地域ブランドの種になるテーマの検討を行いました。	🍎🍎	区の特徴として潜在性のあるテーマ(りんご並木、羊ヶ丘など)について、認知度やブランド力を高めるための庁内外への発信活動を進めます。
札幌ドームで開催される国際・大規模イベント・コンベンション時に、来訪者に対するおもてなしの心を伝える活動を支援します。	5月の区実施プラン周知研修の中でのノルディック世界選手権時における取組の紹介や、各課における朝礼等での所属長からの動機付けなどにより、日頃から職員に対する意識付けを行いました。	🍎🍎🍎	大規模イベントにあわせて、必要に応じて対応していきます。
郷土の歴史発掘を進める市民グループと連携し、史跡・名所などの情報を収集します。	春・秋に計画した実地調査は荒天等で実施できませんでしたが、郷土の歴史発掘を進める住民グループなどの情報を収集し、今後の連携や活動成果を区民に発表できる方策を検討しました。	🍎🍎	季節毎の見所の調査や、郷土史発掘を進める市民との連携等を図っていきます。






プランの推進体制

庁内のタテ・ヨコ・ナナメの情報共有を進めます

: 実施したもの : 一部実施のもの : 検討の結果、未実施のもの

実施プラン掲載項目	3月末現在の実施状況	評価	平成20年度への改善点
部・課など組織を超えた情報共有・業務推進 庁内ホームページを活用し、庁内の横断的な連携や、区民の意見の共有などを図ります。	庁内ホームページの更新を週2回以上実施しました。より多くの職員が情報を共有できるよう各部からのお知らせを随時更新しました。 また、「皆さまの声」に寄せられた区民の意見を随時掲載しました。 2月には元気の種コレクションで庁内ホームページの取り組みを紹介しました。		庁内ホームページ委員会の役割を整理して、各課からの情報発信を強化します。
職員相互に情報を共有し、やさしく分かりやすい説明を行うよう窓口サービスの向上に努めます。	「皆様の声」など、区民から寄せられた苦情とそれに対する改善策について、庁内ホームページに掲載し、職員間の情報共有化とサービスアップの意識を喚起しました。 区民の立場に立ったサービスアップを目指し、「市民対応検討委員会」を毎月開催し、具体的な対応について意見交換を行い、職員への指導や研修に活用しました。		市民対応検討委員会での意見交換内容を、職員に広く周知していきます。
区役所全体の業務が分かる職員用のマニュアルを活用し、庁内横断的な情報交換会など、各種研修を実施し、職員の能力向上を図ります。	5月にお仕事マップを製本し、区職員に配布しました。「夢華会」と連携して12月にコンシェルジュ向け接客マナー研修を実施しました。 3月にお仕事マップの今後について、3年目の職員と新採用職員でワークショップを行いました。		お仕事マップの活用や改訂について検討します。
職員の世代を超えた情報共有 中堅職員を含めた、より多くの職員が参加しやすい「プレゼンテーション研修」を実施します。	8月に自治研修センターと協働で、市民自治推進のプレゼンテーション研修を開催しました。 戸籍住民課職員によるお仕事紹介プレゼンテーション研修を実施しました。		中堅職員を含めた情報共有の機会・方法を更に工夫します。
各地区（まちづくりセンター）の組織横断的な連携を一層深め、総合的な地域支援活動を、まちづくりセンターを拠点として展開します。	東月寒地区ホームページ開設のサポートなど、まちセン、区が連携しながら地域の取組について必要なサポートを行いました。		まちセンと連携を図りながら、各地域の現状を把握するとともに、必要なサポートを行います。
横断的プロジェクト方式で行う組織横断的なプロジェクトを結成し、横の連携を強化しながら課題解決に向けて取り組みます。	6月に昨年から引き続き実施する6つのプロジェクト、7月に新しく1つのプロジェクトを立ち上げて、それぞれに活動しました。		プロジェクトのあり方について、もう一度、見直しを行います。
まちづくりセンターの活動をサポートする新規プロジェクトを立ち上げます。	サポートが必要な場面等について検討した結果、まちづくりセンターの置かれている状況等に差異が大きく、現時点ではプロジェクトの立ち上げが難しいという結論に至りました。		区役所とまちづくりセンターの業務連携のあり方について整理していきます。

誇りと、自信と、楽しさを持って、仕事を進めます

実施プラン掲載項目	3月末現在の実施状況	評価	平成20年度への改善点
区民が安心して相談できるよう、専門分野の知識、技能、コミュニケーション能力、IT技能を高めます。また、職員の仕事への責任感を高め、適切で迅速・効率的な住民サービスを提供します。	各部・各課内において、職場内研修を実施するとともに、課題研修や新採用職員向けの研修を実施しました。（実施プラン周知、EMS、情報セキュリティー、交通安全、メンタルヘルス） また、自治研修センターにおける研修への参加動機付けなどにより、研修機会の充実に努めました。		各部・各課で行われている同種の研修の合同開催、連携を進めます。
職員提案の発表会、オフサイトミーティング（職場での肩書きを外し、ざっくばらんな雰囲気、気楽にまじめな話をすること。）の開催、業務マニュアルの充実など、職員の業務力向上に努めます。	7月に84名が参加し、「豊平区大交流会」を開催しました。9月に、新採用職員研修後の幹部職員との交流会を開催しました。2月に種コレ見学の自己啓発研修を実施しました。 また、お仕事マップ活用プロジェクトや各職場研修などで、職員の業務力向上に努めました。		実施方法を更に工夫します。
証明発行などの手続きに係る待ち時間の短縮を、さらに進めます。	昼休みの窓口受付人員増等により、待ち時間の短縮に努めました。		「窓口対応パワーアップ宣言」対応マナーや業務知識のスキルアップを図り、適切で迅速・効率的なサービスを提供します。
札幌市情報セキュリティポリシーを組織全体で遵守し、職員のセキュリティ意識の向上に努め、区民の個人情報保護を徹底します。	区役所サーバを更新し、定期的バックアップの機能を強化しました。情報セキュリティポリシーは遵守されており、個人情報保護がなされました。		新ICカードの利用開始に合わせて、職員による管理の徹底を図ります。 E-ラーニングを活用するなど、情報セキュリティ研修を行い、職員のセキュリティ意識の向上を図ります。
税に対する区民の理解を深め、正確で分かりやすい説明を心掛けます。また、区民が活用しやすい「逆引きパンフレット」の配布などを行います。	区民が手軽に利用しやすいよう、パンフレットを目的別に色分けし、置き方を工夫することで、3月末現在、1,134枚を配布しました。		区民の声や意見を聞きながら、新たな事項の検討・作成や既存パンフレット内容についても見直しを行います。

🍎🍎🍎 : 実施したもの 🍎🍎 : 一部実施のもの 🍎 : 検討の結果、未実施のもの

実施プラン掲載項目	3月末現在の実施状況	評価	平成20年度への改善点
税の収入率、口座振替加入率の向上に努めます。	収入率の向上と歳入確保を推進するため、差押を強化し3月末現在で1,488件の差押を実施しました。 口座振替加入率向上については、豊平区ホームページへの投稿及び課税・納税相談時を通じて、加入促進に努めました。	🍎🍎🍎	収入率の向上と歳入確保のため、引き続き効率的な滞納整理の実施及び職員研修の強化を図ります。
区民の利便性を高めるために、国・道・市の合同で税の相談会を開催します。	12月14日実施しました。相談者数59人で、所管別件数として、国66件、道8件、市27件でした。	🍎🍎🍎	継続して実施しますが、20年度は12月14日が日曜日であるため、開催日は検討します。

評価ランク



: 実施したもの 68事業
: 一部実施のもの 4事業
: 検討の結果、未実施のもの 2事業

平成20年3月31日

豊平区長 紙谷 健治